

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム	No.3 木とともにだちになろう ①身近な樹木調べ
---------	---------------------------

学校名	高知市立介良潮見台小学校
学年・生徒数	1年生 35名、3年生 35名
実施場所	介良富士（校区内にある里山）、教室オープンスペース
目標	地域の山に生えている樹木に親しむ。身近な樹木の枝や葉の特徴を見つける。
実施教科	総合学習の時間
関連教科	1年 生活科、3年 理科
講師	早田佳史、浦部光治、今安清光（高知大学）
準備物	学校：飲み水、ビニール袋、新聞紙 講師：手袋、樹木図鑑、プリント（樹木仕訳表）

実施項目	樹木博士になろう（樹木調べ）
対象プログラム	No.3 木とともにだちになろう ①身近な樹木調べ
所要時間	120分
実施内容	<p><u>はじめに：10分程度（場所：学校に隣接する一号公園）</u></p> <p>講師から「どんな木を知っていますか？」と児童に問いかけると、児童から桜、イチョウなどの答えが返ってきた。今日の活動は介良富士で樹木の葉を収集すること、収集するときに注意すること（毒がある植物、樹液でかぶれる植物、トゲがある植物）などを伝えた。学習は教員の他、スクールサポーターと呼ばれる地域ボランティアの協力を得て実施した。</p> <p><u>・介良富士に移動・樹木の収集・教室に移動：70分程度</u></p> <p>みんなで介良富士登り口に移動した。登り口で班ごとにわかれ、各班に教員またはスクールサポーターが一人付いた。講師から収集方法（グループで協力して違う種類の樹木の葉を収集すること）、収集する葉はハサミを持っている教員またはサポーターに採ってもらうこと等を説明し、班ごとに山を散策しながら収集した。</p> <p><u>・樹木の分類作業：40分程度</u></p> <p>教室に戻ると班ごとに収集した葉を新聞紙の上にひろげて、種類ごとに仕分けした。仕分けができたなら、できるだけきれいな葉を1枚だけ選んだ。</p> <p>講師から、①広葉樹・針葉樹とは、②葉のつき方の違い（対生・互生）、③葉の特徴（ギザギザの葉、ゲのある葉、毛のある葉）、葉が落ちる木などの説明をした。班ごとに仕分けした葉を見ながら、これは対生？これはギザギザ？と相談して仕訳表に該当する葉の数を記入した。</p>
1年生	
10：25～12：25	

実施風景



じゅもくしわけひょう(樹木仕分表) (班)		
班員名 ()		
しわけ(仕分け)	かず(数)	イラスト
とってきたじゅもくのかず(樹木数)		
こうようじゅ(広葉樹)		
しんようじゅ(針葉樹)		
たいせい(対生)		



児童の感想

- ・山のぼりが楽しかった。葉っぱがたくさんとれてとてもよかった。
- ・「ごせい」や「たいせい」などいろんなことを習った。
- ・山の学習をして木の名前がいっぱいわかった。

学校の感想

樹木の仕分けは低学年には難しかった。次年度は山の学習と生活科とつながるように、例えば収集した葉などを使って児童が作品作りをする活動ができないかを検討したい。

実施内容

はじめに：5分程度 (場所：学校に隣接する一号公園)

3年生

13：25～15：25

講師から全体の流れを説明し、できるだけたくさん種類を集めること、班で相談しながらまだ採取していない違う種類の木を集めること等を説明し、班ごとにビニール袋を1枚配布した。今回も各班に教員または児童の保護者が付いて学習をサポートした。

・介良富士に移動・樹木の収集・教室に移動：70分程度

みんなで介良富士登り口に移動した。登り口で採取するときの注意点(かぶれる木等)や採取する範囲(道から手の届く範囲)、研究する時は採取する範囲を決めて行うことが大事等の説明をした。各班に教員または保護者が付いて、山を散策しながら樹木の葉を収集した。

・樹木の分類作業・全体発表：45分程度

教室に戻ると講師から仕分けの注意点（樹木でないものは除く、同じものを除く）や木の特徴（広葉樹・針葉樹、葉が対生・互生、葉の特徴（鋸歯がある（ギザギザ）、トゲ、毛がある）等の説明をし、班ごとに収集した葉を仕訳して仕訳表に該当する葉の数を記入した。

仕分けが終わると、班ごとに「広葉樹が多い」「互生が多い」など仕分けして気づいたことを発表した。

次に樹木図鑑の見方を説明し、班ごとに調べる葉を1枚選び、樹木図鑑を使って「広葉樹・針葉樹」「単葉・複葉」などの特徴を観察して、選んだ葉の樹種を調べた。班ごとに調べた葉の樹種を発表した。

実施風景



児童の感想

・名前を調べたり、仲間分けをしたりするのが楽しかった。少し難しいところもあったけど勉強になりました。葉のはえ方などが変わる、違うだけで名前が違ったのですごいなと思いました。

・介良富士に登って樹木を集めて楽しかった。対生、互生、針葉樹、広葉樹の仲間分けをするのが難しかったです。名前調べも難しかったです。

補足

介良潮見台小学校では全学年で山の学習に取り組んでいる。

「樹木博士になろう」は1年生から4年生まで4年間行い、6年生はこれまで学んだ樹木の枝や葉の特徴を絵や言葉を使って自分なりにまとめ、樹木名を当てるテストに取り組む。

学校から歩いて行ける距離に学習できる里山（フィールド）があるのは恵まれた環境である。また、スクールサポーターや保護者の協力を得て学習を実施するのは、地域の方や保護者と触れ合う機会となっている。児童の発達段階に応じて、山に自生しているさまざまな樹木に触れ、親しむ体験を行っている。